

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「絵本で素敵なエピソードを」

子育てふれあいセンター 岡本 美紀

絵本の読み聞かせは、いいものだというのは、多くの人が思っておられることでしょう。

私も子どもが小さい頃は、毎晩ベッドの中で読み聞かせをしていました。そのせいか、特に一番下の娘は絵本が大好きになりました。その娘と子育てふれあいセンターへ行っていった頃のことです。いつも、センターへ行くと先生方にもたくさん絵本を読んでもらっていました。ある日いつものように絵本を読んでいたのですが、その日は

なぜか「帰ろうか。」と言っても、もっともつと…と、絵本を取る手が止まりません。延々と続いてついには、『こどものとも0・1・2』の本棚二段分を全部読み切つて、自分の横に積み上げてしまいました。そのときの娘の満足そうな顔は、今でも忘れられません。娘が大きくなつても、この話をしてやると、とてもうれしそうにしています。子育て中の思い出はたくさんありますが、絵本にまつわるエピソードは、ほつこりとあたたかいものとして心に残っています。

今、子育て真っ最中のみなさんにも、絵

本をとおしての素敵なエピソードが心に残ればいいなあと思います。

子育てふれあいセンターでも、できるだけたくさん絵本にふれる機会をと、様々な活動の中に、読み聞かせを取り入れています。また、遊びの部屋にも絵本のコーナーを設けて、そこには、図書館の団体貸出の絵本や読み物を置いています。毎月、こちらのリクエストにこたえて、図書館の職員さんが、いい本を選定して届けてくださっています。ぜひ、センターへ遊びに来られたときには、絵本コーナーで、親子の時間を楽しんでください。



言の葉だより

時間は夢を裏切らない

松本零士 編

1938年、福岡県久留米市で生まれた松本さんは6歳頃から絵を描き始め、9歳で運命的な本『新寶島』『月世界紳士』に出会います。それをきっかけに漫画を描き始め、中学1年生の時には「毎日中学生新聞」に漫画が掲載されたことも。しかし、「漫画家になれたらいいなあ」と漠然と思っていたぐらいで、「なれる」とは全く考えていなかったそうです。

漫画を描きながら、絵をデパートの宣伝部に持っていったり、商店街の人にチラシを描かせてくれと頼んだりしてアルバイトにも精を出します。1954年に『蜜蜂の冒険』で商業誌デビューし、高校2年生の時には毎日新聞西部本社で連載も始まります。そのおかげで卒業までの学費その他は全部自分で賄っています。

そして18歳の時、トランクひとつで汽車に乗り上京。その時の情景がのちの『銀河鉄道999』の原型となり、またその後の下宿生活での苦労も含めた経験が、さまざまな作品を生み出す母体となっています。

1972年、『男おいどん』で講談社出版文化賞を受賞。これで初めて自分は漫画家だと答えられるようになったそうです。その後、徐々に少年漫画からの依頼が増え始め、本名の松本あきらから松本零士というペンネームに変更します。『宇宙戦艦ヤマト』では、単なる戦闘ドラマではなく、叙情感あふれる宇宙の海での大航海物語にしようという信念で構想をまとめ上げています。

数々の作品を残し、生涯漫画を描き続けた松本さん。2023年2月、大好きな宇宙である、星の海へと旅立たれたのでした。

【参考文献】『松本零士創作ノート』松本零士/著(KKベストセラーズ)、『松本零士画集』松本零士/著(愛育社)、『君たちは夢をどうかなえるか』松本零士/著(PHP研究所)、松本零士ホームページ「零時社」より

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

| — 4月 — | | | | | | | — 5月 — | | | | | | | — 6月 — | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

休館日

【こたえ】Ⅰ…① Ⅱ…③ Ⅲ…③ Ⅳ…①

生涯に一度、自分はどうするかという瞬間が来る。その瞬間に自らの意思で旅立つかどうか、それで運命が変わる。

— 『君たちは夢をどうかなえるか』より —

松本零士さんに関連するクイズです。

I. 『宇宙戦艦ヤマト』の主題歌はある曲をイメージしてつくられています。その曲とは。

- ①ベートーベン『英雄』 ②エルガー『威風堂々』
③シューマン『トロイメライ』
④モーツァルト『トルコ行進曲』

II. 『宇宙戦艦ヤマト』に出てくる「スターシア」のモデルはある人物の孫娘です。その人物とは。

- ①ラフカディオ・ハーン ②アーネスト・サトウ
③シーボルト ④クラーク博士

III. 「3大締め切りを守らん男」とあだ名をつけられた松本さんと手塚治虫さん。あと1人は誰。

- ①藤子不二雄 ②横山光輝
③石ノ森章太郎 ④ちばあきお

IV. 『銀河鉄道999』など作品のタイトルに好んで9を使う理由は？

- ①あとひとつで単位が繰り上がる数字だから
②宇宙には無限の星があるという意味をこめて
③どの作品も9月にヒットしたから
④999の星を巡りながら旅する物語だから

【こたえ】は右下にあるよ

★
ありがとうございます！
少しの本や文庫本を借りた時など、現在使っている図書館バッグでは大きいのですとお話ししたら、八千代区の宮崎緑さんが、播州織の生地を使って、少し小ぶりのかわいい図書館バッグを作ってくださいました。大切に活用したいと思います。ありがとうございました。



講演会「遊びは力」& ウォルドルフ人形づくり 12/17

第1部の講演会は西脇高等学校でも教鞭をとられたことのある足立宗男先生。「てくてく工房」を立ち上げ、自然の中、親子で活動する体験教室を開かれました。そこでの25年間の取り組みを振り返り、実体験は生きる力や想像する力をはぐむとお話いただきました。



第2部ではワークショップ「ウォルドルフ人形づくり」を足立美和子先生にご指導いただきました。今回は制作時間が1時間程度と限られた時間でしたので、指人

形 or ぽんぽん鳥、いずれかを選んでいただき、それぞれ楽しそうに作品づくりに取り組まれていました。

～かるた会～ 1/14



お正月の恒例行事・かるた会を、今年も開催しました。4歳～小学3年生までの「いろいろカルタ」には、20人が参加。今年初登場した「なぞなぞカルタ」では、問いに対する答えを即座に考えだし、札に手をのばす姿が見られ、子どもたちの柔軟な思考力に驚かされました。

小学4～6年生の「百人一首」には7人が参加。全札を暗記している子もいれば、本格的な勝負は初めての子もいましたが、それぞれのグループで真剣勝負を繰り広げていました。



「2023年本屋大賞」ミネート作品が発表されました。大賞の発表は4月12日(水)です。

| 候補作家 | 作品名 | 出版社 |
|-------|------------|--------|
| 寺地はるな | 川のほとりに立つ者は | 双葉社 |
| 小川哲 | 君のクイズ | 朝日新聞出版 |
| 町田そのこ | 宙ごはん | 小学館 |
| 青山美智子 | 月の立つ林で | ポプラ社 |
| 尻良ゆう | 汝、星のごとく | 講談社 |
| 夕木春央 | 方舟 | 講談社 |
| 結城真一郎 | #真相をお話しします | 新潮社 |

図書館 NEWS 12.17～3.31

クリスマスミニコンサート 12/24

今年は、多可町・西脇市を中心に活動されているMASABANDさんをお願いし、楽しいコンサートを開催していただきました。子どもから大人まで、なじみのある6曲を約30分間にわたり演奏されました。最後は、子どもさんと一緒に合唱する場面もあり、とても盛り上がりしました。年に1度ですが、「図書館の中に音楽が流れるのもいいものだなあ」という来館者の感想もきかれました。



クリスマス特別おはなし会 12/24



窓の外に雪がちらつくクリスマスイブの日、「おはなしサークルあいあい」さんによる恒例のクリスマス特別おはなし会が開催されました。クリスマスにぴったりのおはなしや絵本、紙芝居など、子どもたちが笑顔で聞き入る楽しいひとときでした。

親子で楽しむ手遊び・ふれあい遊び 3/4

講師は、三田市で子育て支援コーディネーターとして活動されている、長野薫さん。親子連れなど、11人が参加しました。幼い子の発達を促すベビーマッサージでは、全身をお父さんやお母さんにマッサージしてもらって、気持ちよさげににっこり。足指のマッサージはしもやけ防止にもなるそうですよ。また少し大きな子どもたちは、ドングリや栃の実など自然の木の实を使った遊びや、リズム遊びで楽しそうに笑い声をあげていました。親子のふれあいを満喫できた時間でした。



| 候補作家 | 作品名 | 出版社 |
|-------|-------------|------|
| 呉勝浩 | 爆弾 | 講談社 |
| 一穂ミチ | 光のところにいてね | 文藝春秋 |
| 安壇 美緒 | ラブ力は静かに弓を持つ | 集英社 |



Book Menu

『犬小屋 アットホーム!』



大山淳子/著
U-NEXT (Fオオ)
ジャンル：小説

12年ぶりに刑務所を出た、元ヤクザの正丸銀太。かつて組があつたところはコインパーキングになっており、行き場をなくした正丸に声をかけてきたのは、見知らぬ青年・横須賀でした。正丸が連れて行かれたのは、なだらかな丘の上に立つ白くて大きな建物。横須賀から、ここは老人ホームのようなもので、家賃や食費は不要だけれど「犬と同居すること」が入居の条件だと説明されます。なぜ自分に声がかかったのか分からないまま、そこでの暮らしが始まりました。同居犬の名はサクラ。以前は税関で麻薬探知犬として働いていたジャーマンシェ・パードで、人が命ずるままに動く、律儀な性格の犬でした。ある日、刑務所にいた12年を取り戻すべく組の仲間と会いに行った正丸は、そこで知った真実に絶望し生きることを諦めかけます。しかしその時、正丸がなぜサクラのパートナーに選ばれたのかを知ることにもなったのです。他にも行き場のない人や犬が横須賀に誘われ、やってきます。人と犬との共生を始めた、横須賀が「マダム」と呼ぶ女性の真の目的とは？読むほどに心が温まる連作短編集です。(あ)

何百年、何千年という時を超え、今に伝わった文化財。国宝は貴重な重要文化財の中から、その時代そのジャンルの出来栄が優れ、歴史的に価値のあるものが専門家によって慎重に選び抜かれています。その数は建造物と美術工芸品を合わせて千件以上にのぼります。法隆寺に伝わる「玉虫厨子」は建築、工芸、絵画が融合した飛鳥芸術の粋が凝縮された宝物です。透かし彫り金具の下に玉虫の翅がしきつめられた大型の厨子で、飛鳥時代の建築様式や瓦葺の技法を今に伝えています。玉虫厨子が納まる大宝蔵院の南にそびえる五重塔は世界最古の木造建築です。スカイツリーにも採用された制震構造を持ち、安定の佇まいを見せています。本書では国宝の基礎知識のみならず工芸品や彫刻、建造物などを取り上げ、どこがすごいのか、見所は何なのかを解説しています。国宝にまつわる件数やサイズなどの数に注目すると見えてくる、作品の歴史や舞台裏についてもふれていきます。読み進めるうちに心ひかれる国宝を訪ね、時を超えた名品の美しさを目の当たりにしてみたいかなるかもしれません。(り)

岩手県の漁港、田野畑村でミズダコを捕って暮らしている漁師のキンちゃんや愛犬タロウのお話です。タロウの生まれは、リンゴ農家で、タロウのことを気に入ったキンちゃんや里親として、タロウを家に迎え入れました。タロウの仕事は、キンちゃんやのタコ漁のお供をして、エサの魚を横取りするカモメをおっぱらうことでした。漁に出ない時も、キンちゃんやとタロウは散歩に出かけたり、おやつ遊びをしたりして平和な毎日を過ごしていました。ところが、今から十二年前、東北地方で発生した大地震によるツナミに、タロウがさらわれ、しまいました。タロウは、キンちゃんやに会いたい一心で、いろんなものが浮かぶまっ黒な海を泳ぎ、グチャグチャになった道を泥んこになりながらキンちゃんやを探して歩き続けました。そして、九日目の夕方、もう動く力も残っていない時、地震の後片付けをしているキンちゃんやの姿を見つけた。すぐに気づいたキンちゃんやがタロウを抱き上げると、うれしくてたまらないタロウは、涙のあふれるキンちゃんやの顔をペロペロといつまでもなめ続けました。(と)

『国宝の解剖図鑑』



佐藤晃子/著
エクスナレッジ (709 才)
ジャンル：実用書

『漁師犬タロウ』



尾崎たまき/写真・文
新日本出版社 (ETお)
ジャンル：絵本

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「宝物の時間を過ごせる場所」
中田中学校2年 菊池 聖愛

皆さんは、図書館に対してどんなイメージがありますか。私にとっては、小さい頃から大好きな場所、わくわくドキドキする宝物の時間を過ごせる場所です。

今では、パソコンやスマホでも本を読むことはできますが、画面を長時間

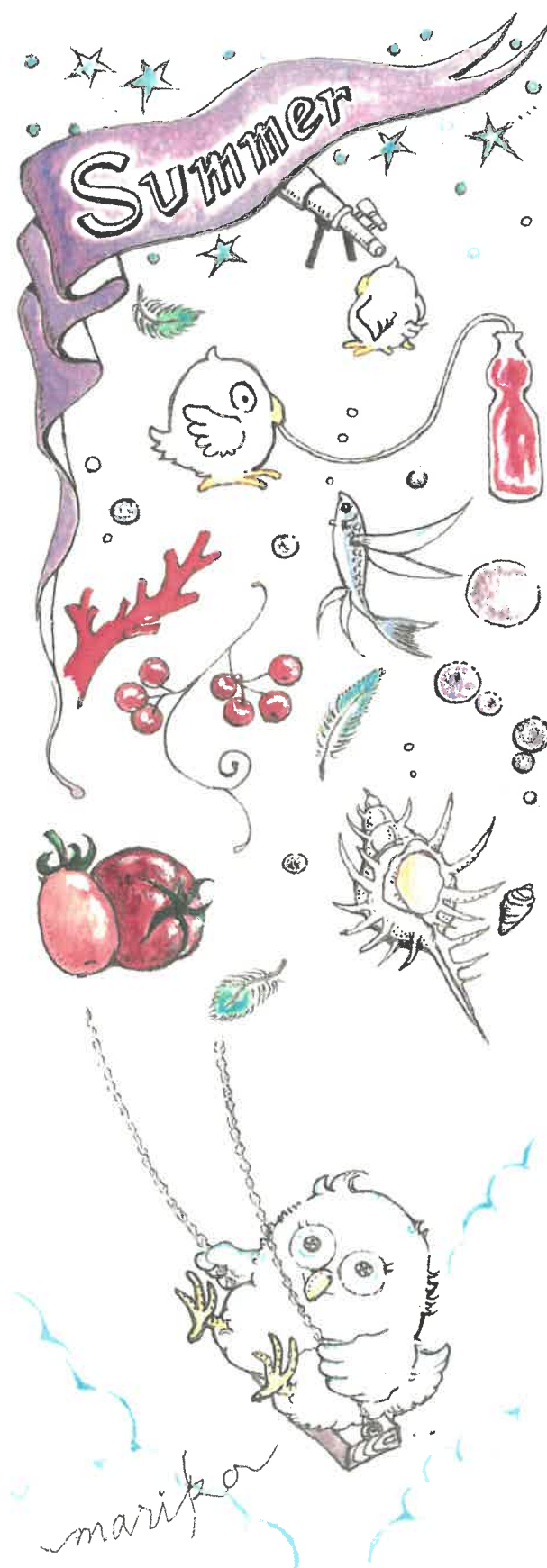
見ながら読書するのは目も疲れます。ですが、実際に気になる本を本棚から取り出し、パラパラとめくり、挿絵を眺めたり、内容を想像したりするのが面白いです。

本を買うのはお金もかかるし、家での収納にもスペースをとります。でも、図書館は無料で新刊や、すでに発行されている本もその場で読めます。

興味のある分野はもちろん、知らない

かった分野やきれいな写真集、作ってみたい料理の本、もう一度読みたかった絵本、まだ自分が体験していない大人の世界、旅をしたことのない地方など、私の想像力をかきたててくれます。

本を選ぶことで自分の内側を発見することが出来ます。皆さんもどうぞお気軽に図書館で本の世界を楽しんでみてください。



こと は 言の葉だより

雑草という名の草はない

牧野富太郎 編

NHKの朝ドラ『らんまん』のモデル・牧野富太郎。日本全国の野山で40万点の植物標本を収集、1,500種類以上の植物を発見・命名するなど、生涯をかけて日本の植物分類学の基礎を築くのに尽力しました。

1862年、土佐藩の裕福な商家の跡取り息子として生まれた富太郎は、幼い頃から植物が大好きで、野山を歩き回っていました。気になるものは持ち帰って観察しながら絵を描き、薬草の専門書で名前を調べ覚えていきました。独学で植物を学んだ富太郎は、22歳の時、描きためた植物目録とたくさんの標本を抱え、東京大学・植物学教室の扉をたたきました。専門的な知識と情熱が認められ、出入りを許されます。「小学校中退」の学歴しかない富太郎は、異例の存在でした。

研究に打ち込み、25歳の時には教室の仲間と『植物学雑誌』を創刊します。また26歳で『日本植物志図篇』第一巻を自費で出版。当時の研究者たちは図の正確さに衝撃を受け、富太郎は植物学者として高い評価を得ることになりました。日本の植物学を前進させることに大いに貢献した富太郎でしたが、教授からやっかまれ、6年目、教室への出入りを禁じられます。途方に暮れましたが仲間の助けもあり、場を移しながらも研究と本の発行を続けることができたのでした。

一方私生活では、26歳の時、11歳年下の菓子屋の娘・壽衛と結婚し、子宝にも恵まれます。しかし金銭には無頓着で、研究に惜しみなくお金を使うため、借金ばかりの貧乏暮らし。それでも壽衛は、夫の植物学への情熱と才能を誰よりも理解しており、文句一つ言わず富太郎を支え続けました。そんな家族の協力のもと94歳まで、植物を愛し続けた一生でした。

【参考文献】『牧野富太郎』清水洋美/文(汐文社)、『牧野富太郎と壽衛』牧野一洋/監修(宝島社)、『われらの牧野富太郎!』いとうせいこう/監修(毎日新聞出版)

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

| — 7月 — | | | | | | | — 8月 — | | | | | | | — 9月 — | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | | 1 | 2 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

休館日

【こたえ】I…③ II…① III…② IV…④

植物は人間がいなくても、少しも構わずに生活することができるが、人間は植物がなくては一日も生活することができない。

— 『牧野植物一家言』より —

牧野富太郎さんに関連するクイズです。

I. 『植物学雑誌』を創刊するにあたり、富太郎がこだわって習得したことは？

- ①ラテン語 ②彩色技術
③印刷技術 ④製本技術

II. 富太郎が大好きだった野菜は何？

- ①トマト ②キュウリ ③ナス ④ジャガイモ

III. 富太郎が66歳の時、壽衛が亡くなります。

前年に発見したある新種の植物に妻の名前をつけて偲ぶのですが、その植物とは？

- ①マンネングサ ②ササ
③スミレ ④シャクナゲ

IV. おちゃめな一面があった富太郎は、サイン(マーク)もいくつかありました。実際にはなかったものはどれ？

- ①くるくると巻いた「の」
②逆さまの「貧」を使った「貧」太郎
③「T, M」マーク
④「槇の木」を図案化したもの

【こたえ】は右下にあるよ



図書館ボランティア募集

現在、図書館ボランティア「サポーター・ねっと」には36名の方が登録されており、おはなし会や書架の整頓、また今回のような図書館まつり際には企画、運営にもご参加、ご協力をいただいています。

利用者の皆さんと一緒に楽しい図書館づくりを目指していますので、ぜひ、図書館にご興味のある方はご参加ください。詳しくは図書館まで。



4月23日から5月12日のこどもの読書週間に合わせ、特別おはなし会が開催されました。「おはなしサークルあいあい」さんによるおはなし会は、ストーリーテリングで始まり、大型絵本や紙芝居、手遊びなど子どもたちの心を掴むものばかりでした。

子どもたちがおはなしに聞き入る姿や、ときには読み手の方とコミュニケーションをとる場面も見られ、楽しい時間を過ごしました。



ボールすくい



播州織キャンディ
マグネットづくり



白バイ乗車

3つの発祥文化の紙芝居



布絵本
コーナー



輪投げ



糸車
体験



装備体験



プラバンをつくろう



おはなし会



折り本づくり



本のリサイクル広場



図書館 NEWS

— 4.1 ~ 6.30 —

トライやる・ウィーク 5/30~6/3

昨年度は6月と9月の2回に分けて実施しましたが、今年度は3中学校の生徒5名が揃って、図書館の仕事を体験しました。期間中は通常の図書館業務に加え、学校園へ貸し出している本の配達・回収、さらに、週末に開催予定であった図書館まつりとその準備に大忙しでした。途中、警報が出たこともあり日数は4日間となりましたが、図書館では何を大切に思っているのかを学んでいただきました。期間中に体験したことを今後の活動に活かしていただければと思います。

※図書館だよりのタイトルロゴも書いてもらいました。また、巻頭文もトライやるに来てくれた菊池さんに寄稿いただいています。



古びてはいるものの、細やかなサービスが好評の三日月ホテル。パーティーなど招待状の宛名書きは、20数人の書家に依頼しています。ある時、最近登録された「遠田薫」という人物が選ばれました。ホテルマンの続力は、年齢も性別も分からぬまま、遠田の家を訪ねることになります。

苦労してたどり着いた先にいたのは、古い一軒家で書道教室を開く、30代半ばの男でした。書道教室に通う子どもたちへの指導は、少々下品で型破り。自由奔放な遠田にペースを乱される続でしたが、よく分からない用件で何度も呼び出されるうち、多種多様な筆致を使い分ける遠田に惹きつけられます。しかしある日突然、ホテルの登録を解除して欲しいとのメールが。動転した続はすぐに遠田の家を訪れ、その時初めて遠田本来の書風と、書の凄みを目の当たりにし、同時に彼の壮絶な過去を知ることになったのです。

極めて脳天気かつ豪放に見えるけれど繊細な一面を持つ遠田と、なぜか人から「話しかけられやすい」という体質の続。癖のある人物たちを魅力的に描く『三浦しをんワールド』にどっぷり浸れる1冊です。(あ)

表紙を見て心躍る方も多いのではないのでしょうか。そう、漫画『スラムダンク』。実はこのスラムダンクの作者井上雄彦さん、「バスケットボールというスポーツに恩返ししたい」という志から奨学金制度を始められています。高校では終われない、夢をあきらめられないとアメリカに渡り、挑もうとする14名の若者を井上さんは支援しているのです。

彼らは異国の地で心が折れそうな現実を突きつけられ、それぞれの悩みや葛藤を抱えながらも挑戦し続けます。また、応援してくれた人々への感謝の気持ちも正直に綴られています。そんな挑戦者達に対する井上さんのコメントは愛情深く、彼らの奮闘をずっと側で応援しているのが伝わってきます。最後には、裏方である奨学金事務局のインタビューも掲載されており、奨学金事務局の重要性やその活動の舞台裏に触れることができます。

スラムダンクファンや映画を観た方、バスケットボールの愛好者、または人間の成長や進路に興味を持つ方にとって、心を揺さぶられる1冊です。(よ)

シルバール国の若い王子は、王国7か国のうちで最も美しい姫君メリンダ王女に結婚を申し込みます。王女は婚装束が整わなければ結婚はしないと言いました。すなわち羽のように軽く絹のようにつややかで、麻のように丈夫な金色のドレス。世界に二つとない真つ赤な靴。クモの糸ほど細い糸で織られた透き通るヴェール。この難題のまえに多くの求婚者が王女との結婚をあきらめました。ところが王子は、森で偶然に盗賊から救った娘の真心からの献身により、王女の希望通りの衣装を手に入れます。が、賢明な王子は自分が本当に手にしたものが、別の大切なものであると気づいていたのです。

イギリスの作家バーバラ・レオニ・ピカードの作品は、神話や伝説、昔話の再話のほか、中世イギリスを舞台にした歴史小説「剣と絵筆」などいくつか邦訳されています。いずれも著者自身がアンデルセンやオスカー・ワイルドを称して「優れた作品は愛や憎しみ、喜びや悲しみ、善や悪など人生における基本的なことを扱っているもので古びることはない」と述べているように、このことばを体現した作品ばかりです。(り)

『墨のゆらめき』



三浦しをん/著
新潮社 (Fミウ)
ジャンル：小説

『その先の世界へ スラムダンク奨学金 インタビュー』



宮地陽子、伊藤亮/著
集英社 (783ミ)
ジャンル：実用書

『7つの国のおとぎ話』



バーバラ・レオニ・
ピカード/作
洋洋社 (K933ヒ)
ジャンル：児童読み物



令和4年度ベストリーダー

【小説部門】
『マスカレード・ゲーム』
東野圭吾/著 (Fヒカ)
『隠蔽捜査9 探花』
今野 敏/著 (Fコン)
『帆神』
玉岡かおる/著 (Fタマ)

【エッセイ】
『ないものねだるな』
阿川佐和子/著 (914ア)
『何がおかしい』
佐藤愛子/著 (914サ)
『老いを楽しく手なずけよう』
吉永みち子/著 (914ヨ)

令和4年度予約ベスト

『老害の人』 内館牧子/著 (Fウチ)
『おいしいごはんが食べられますように』
高瀬隼子/著 (Fタカ)
『三千円の使いかた』
原田ひ香/著 (Fハラ)
『夜に星を放つ』
窪美澄/著 (Fクホ)

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「健康教育活動」多可町図書館訪問

播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校

2年 松本 春菜

7月26日に本校を運営している3市1町の地域の方々と、健康についてコミュニケーションをとる活動があり、1・2年生が参加しました。各市町の魅力や特性を学習し、地域の特性に合わせたテーマを考えチラシを作成しました。

私たちのグループは、多可町を担当し自然豊かな緑に注目し、「運動」をテーマに設定しました。自然を活かした運動方法や運動しやすい季節、おすすめスポーツを掲載したチラシをもって図書館を訪ねました。チラシを見て、多可町の魅力を改めて知る

ことができたと言ってくださる方もありました。コミュニケーションでは、地域の方々の健康に対しての意識や、健康な生活習慣を維持するための運動、食事の仕方など、それぞれのニーズや思いを知ることができました。そして、個人が生活する文化や価値観の中で、健康に対する意識の違いや運動の捉え方は人それぞれで多様性があると感じました。例えば、スイミングやバレーボールなどの運動は競技的で誰が考えても運動の分類に入ります。しかし、競技だけでなく屋外での農作業や建築作業など、日ごろの仕事で汗をかくことも運動だと言われた方がいました。その方は、毎日の仕事は運動であり、あえてスポーツ

を取り入れなくても十分できていると教えてくれました。人によって、健康な生活を送るために「運動」の取り入れ方には違いがあることを改めて学ぶことができました。今回の活動を通して、チラシをお渡ししたとき、快く受け取ってくださり興味を持っていただけて大変嬉しく思いました。今後、地域に貢献できるように、看護学生として責任をもって学習に励もうと思います。図書館で働かれています関係者の方々や、多可町の方々、快く私たちの活動に協力いただき、大変貴重な学びをいただくことができました。ありがとうございました。



ことばの葉だより

昆虫の詩人

ファール 編

豊かな感受性とすぐれた観察力をもって、虫たちのドラマチックな生き方を見事に描いた『昆虫記』。今年、作者ファールの生誕200年を迎えます。

1823年、南フランスの自然あふれるサン・レオン村に生まれ、虫や鳥、川にすむ生きものを見ながら育ちます。村の学校は、授業中に子ブタが入ってくるようなのどかな環境で、文字や簡単な計算は教わるのですが、ファールはなかなか文字が覚えられませんでした。しかし父親が買ってきてくれた、動物の絵と名前が書かれた壁掛けでABCを覚えると、難しかった学校の教科書がすらすら読めるようになったといひます。

9歳の時、一家は街へ引っ越します。しかし父親の商売はうまくいかず、ファールは14歳で自立することに。その日暮らして仕事にありつけず、食事や寝るところに困ることもありました。しかしいつかまた勉強したいという気持ちを持ち続け、15歳で受けた師範学校の試験で、給費生として一番で合格。やがて小学校の先生になります。探究心が旺盛なファールは仕事の合間も勉強を続け、数学や物理学、博物学の学士号を取得しました。そして転機が訪れたのは30歳の時。ハチについての論文を読み、昆虫の生態研究を志すようになったのです。

55歳の時、トゲだらけの植物が生える荒地を買い、引っ越します。「アルマス」と名づけたその土地は、虫と植物の楽園でした。研究室のすぐそばで、虫を好きなだけ観察することができる…ファールの願いが叶った瞬間でした。全10巻からなる昆虫記のほとんどはここで書かれています。自然を愛し、虫をこよなく愛した、91年の生涯でした。

「ごく小さいときから、つまり知性の最初の芽生えのときから、私は自然物が好きであった。(略)私には生まれつき観察の才能があったのだ」
—『昆虫記 すばらしきフンコロガシ』より—

ファールに関連するクイズです。

I. 家の中でも、寝るとき以外は帽子をかぶったままだったそうです。どんな帽子を愛用していたでしょうか。

- ①シルクハット ②ベレー帽
③フェルト帽 ④麦わら帽子

II. 終のすみかとなった「アルマス」。これはプロヴァンス語でどういう意味？

- ①楽園 ②荒地 ③湿地 ④乾燥地

III. アルマスには、虫と植物が多く生息していました。特に多かった虫はセミと何？

- ①チョウ ②トンボ
③テントウムシ ④ハチ

IV. アルマスの研究室で、原稿を書くときにする“癖”がありました。どんなことでしょうか。

- ①音楽を聴く
②部屋の掃除をする
③テーブルのまわりを歩き回る
④逆立ちする

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『ファール』砂田弘／文(ポプラ社)、
『ファール昆虫記8 伝記虫の詩人の生涯』奥本大三郎／著(集英社)、
『昆虫記 すばらしきフンコロガシ』(理論社)、
『生物学を開拓した人たちの自然観』竹内均／著(ニュートンプレス)

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

| — 10月 — | | | | | | | — 11月 — | | | | | | | — 12月 — | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | 1 | 2 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 29 | 30 | 31 | | | | | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | | | | | | | | | | | | | | 31 | | | | | | |

休館日

【こたえ】

I…③

II…②

III…④

IV…③

休館日

【こたえ】I…③ II…② III…④ IV…③

ビブリンピック

7/21~8/31

夏休み期間中、開催されたビブリンピック。幼児部門、小学生部門、中学生部門合わせて312名の参加がありました。達成者は、幼児部門43名、小学生部門101名、中学生部門12名でした。暑い中、図書館に来館し自分の好きな本を熱心に探したり、カウンターで台紙にスタンプを楽しそうに押し付けたりする姿が見られました。

また今年は、加美や八千代の分室でもたくさんの方にご参加いただきました。夏のいい思い出になりましたか？



みどりこども園来館

8/30、31

みどりこども園の4歳児・5歳児の子どもたちが来館してくれました。

おはなし会では語られる昔話にじっと耳をかたむけ、また、のりものを当てる絵本のページがめくられるたび、バス！ でんしゃ！ と声を上げ盛りあがりました。



児童書のコーナーでは、借りる本を選んだり、ともだちとお気に入りの本を見せ合ったりと、楽しいひとときを過ごしてくれたようでした。また来てくださいね。



10~12月のイベント案内

☆読み聞かせ講座「もっと知りたい、絵本のこと」

子どもの絵本の選び方、読み聞かせ方などについて、座談会形式で学べる講座です。

講師：今西茂子さん

日時：10月26日（木）

10時30分~11時30分

場所：多可町図書館

参加費：無料

定員：20名程度・託児あり（要申込）

※いずれの講座、講演会も定員になり次第、締め切ります。

図書館 NEWS

— 7.1~9.15 —

手づくり絵本講座

8/20



夏の恒例行事「手づくり絵本講座」を開催し、幼稚園~小学6年生の総勢20人が参加しました。今年は、紙を引っ張るだけで魔法のように絵が変わる、マジックスクリーン作りに挑戦。手づくり絵本作家の村上祐喜子さんの明快な指導のもと、マジックスクリーンの制作方法やアイデアの具体的な手法を学ぶことが出来ました。

子どもたちは、自分の好きな絵を描いたり、シールを貼ったり、想像力を膨らませながら自分だけのオリジナル作品に仕上げました。完成後は一人ずつ作品の発表会を行い、満足そうな表情を浮かべていました。

ストーリーテリング講座

全3回

昨年度に引き続き小栗栖真弓さんを講師にお迎えし、講座を開催しました。第1回目は「現代の語り手ストーリーテリングとは」という内容でお話いただき、基本的なおはなしの覚え方や参考となるテキストなどをご紹介いただきました。おはなしを語る上でいろいろと注意すべきことがありますが、なかでもおはなしの世界を聞き手と共に楽しみながら語るのがとても重要だということでした。

☆「手あそびとわらべうた」講座

心と言葉を育む力を持つと言われる、手あそびやわらべうたを一緒に学んでみませんか。

講師：林美千代さん

日時：11月18日（土）10時~12時

場所：多可町図書館 対象：高校生以上

参加費：無料

定員：20名程度

☆吉田田タカシトークライブ

日時：12月9日（土）13時30分~

場所：アスパル

定員：100名程度

参加費：無料

※詳しくは10月号広報折り込みのチラシをごらんください。



Book Menu

『カラスと少年』

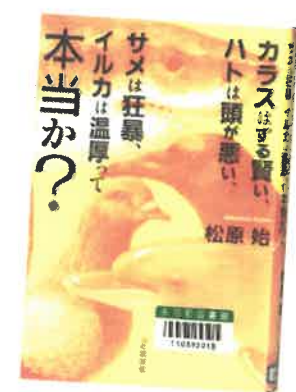


飯塚舜介/著

幻冬舎メディアコンサルティング
（Fメジ）

ジャンル：小説

『カラスはする賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か？』



松原始/著

山と溪谷社（481マ）

ジャンル：実用書

『街どろぼう』



junaida/著

福音館書店（Eし）

ジャンル：絵本

全身真っ黒、不気味な印象のカラスですが、山田一家のもとへふいにやってきた「クロ」は、純二たち兄弟によく懐き、ご飯をもらって食べる仕草もかわいいハシブトガラスでした。昼間は森の方へ飛んでいきますが、夜にはまた戻ってきてかごの中で寝ます。家族の一員となったクロでしたが、夏休みに家を留守にした一ヶ月のあいだによそへ行ったのか、帰ってこなくなりました。しかし純二たち家族はクロと友達になれてよかったと、あつけない別れの寂しさを乗り越えるのでした。他にも黒毛和牛のハナ、家守のアオダイショウなど、純二が少年時代から交流してきたさまざまな家畜や野生の生き物たちの物語が語られています。

人間は、見た目の印象からは逃れられません。相手が動物ならなおさらです。この本では、動物行動学を専攻しカラスを研究している著者が、様々な生き物の「見た目」「性格」「生き方」の誤解について語っています。たとえば「真っ黒で、何を考えているかわからなくて、嘴が大きくて、ガラガラして怖そう」と敬遠しがちなカラスに対し、カモメには優しい気持ちになります。しかし、カモメ類もゴミ漁りの常習犯。やっていることは変わらないのに、人間は見た目のいい生き物を慕いしてしまふのです。しかしカラスは、実はきれいな好き。ゴミを漁った後には嘴を磨き、1日1回、時には3回も水浴びをしているそうです。生活に合わせて形を進化させてきた生物に対し、中身を知らずに外見をあげつらうのはあまりに失礼なことかもしれません。

人間は動物の行動を、人間の理屈で解釈し、性格や性質を想像してしまいがちです。しかし、動物のしている世界は人間と同じではないし、考えていることも生きる道も違うのです。それを理解した上で、生き物たちの頭の中を考えてみるのも楽しいかもしれません。（あ）

大きな山のでっぺんでひとり寂しく過ごす巨人の心温まる物語です。一緒にご飯を食べる人や語り合う相手が欲しくて、巨人は毎日空想にふけています。

ある日、巨人は寂しさに耐えきれず、思い切った行動に出ます。まだ暗いうちに街まで下りていき、一軒の家をそのまま家ごと山のてっぺんに持って帰ってしまったのです。翌朝、巨人はその家の家族と一緒に暮らすことを提案します。しかし、家の主からのお願いは、親戚の家を持つてくることでした。

その後たくさんさんの家を、人を、どろぼうして運んだ巨人だけれど、心は寂しいまま。にぎやかだけれど心はひとりぼっち。どうしてだろう。にぎやかな街の中で三角座りで悩む巨人の姿がかわいくて寂しい。でもご安心ください、「街どろぼう」はハッピーエンドを迎えます。寂しさと切なさがあり、最後に心にじんときくる安らぎを迎えます。

語られていない部分もたくさんあり、読み聞かせから想像を膨らませることが出来ます。装丁も素敵で何度も読み返したくなる絵本です。（よ）

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「新しい多可町図書館」

生涯学習まちづくり委員会

座長 山本 和樹

令和7年春に開館する「生涯学習まちづくりプラザ」。愛称は「あすみる」。英字で「Asmiller」。プラザには図書館、フリールーム、シアタースタジオ、音楽スタジオなど様々な居場所があります。外には芝生広場があり、子育てふれあいセンターともつながっているため、様々なイベントの開催が可能です。

委員会では2回のワークショップを開催。1回目は多世代の方々にプラザの設計についてのご意見を、そして11月に開催した2回目のワークショップでは、中学生、高校生、大学院生そして外国人の方々に、プラザの活用について発表をいただきました。

新しいプラザのコンセプトである「学び×集い×表現」をこのワークショップにおいて学生達は見事に表現してくれました。

「あなたの『できる』がふえる
あつ『たか』広場 Welcome to あすみる」

これは新しいプラザのキャッチコピー。全ての町民にとって未来へとつながり、意義のある、大切な居場所になるように、またあなたの「やりたい」が叶う居場所となるようにとの思いがあります。開館まで、1年と少し。「あすみる」が全ての方々の大切な「居場所」になりますように。

さて、私は社会人になり最初に就職をしたのが大阪の出版・印刷会社でした。毎日、デザインや文字を打ち込み「本」や「雑誌」などを作る側の仕事でした。中学生の頃から読書が好きでしたので、文字を

見るということには慣れていましたが、仕事病か、夢の中で読書をしている時もありました(笑)。今ではなかなかゆっくりと好きな読書を楽しむという至福の時間をとれず、読みたい本・学びたい本のリストが増える一方です。

本好きが高じ、「古物 書籍商」を数年前に取得し、伊丹市などの古本市のイベントに参加をさせていただいています。新しい図書館で、大好きな本を借りてのんびりと読む。「あすみる」のイベントで、古本市を。そんな私のささやかな「やりたい」が叶うまで、もう少し。多可町が「本」のまちになり「いつでも、誰でも、どこでも、手を伸ばせば本に届くまち」になりますように。令和7年春に開館する、新しい多可町図書館。ご期待ください！



こと は 言の葉だより

日本一有名になった犬 ハチ 編

ハチ、という犬を知っていますか。11歳で亡くなるまで7年間、渋谷駅前で亡き主人を待ち続けたことで知られています。昨年生誕100年を迎えたハチの、知名度に対し意外と知られていない一生をたどります。

1923年11月、現在の秋田県大館市で生まれた秋田犬のハチは、生後2カ月ほどで、東京帝国大学教授の上野博士が住む東京・渋谷へ。生来体が弱く病気を繰り返したそうですが、博士が自ら看病し、細やかな愛情を注ぎます。元気になったハチは、博士の送り迎えをするようになりました。しかし1925年5月、博士は突然倒れ、帰らぬ人。幾人かの飼い主のもとを転々としたハチは、1927年頃から毎日朝夕、渋谷駅へ通うようになったようです。しかし改札付近にいるハチを、邪魔だと蹴ったり水をかけたりする人もいました。

周囲の態度が変わったのは1932年、一つの新聞記事が出たのがきっかけでした。博士との思い出が深い渋谷駅付近をうろついていたのを、記者が記事を面白くするため「恩を忘れず、帰らぬ主人を待つ犬」と書いたために、ハチは「忠犬」として全国に名を知られるようになったのです。翌年には渋谷駅前に銅像が造られました。奇しくもそれは戦争の暗雲が近づいていた頃のこと。忠犬ハチ公は「忠君愛国」のシンボルとして、軍国主義に利用されることになったのです。

しかしある動物生態学の研究者によると「動物には人間のように“恩を返す”という感情はなく、純粋な愛情があるだけ」なのだから。大きな体にもかかわらず、穏和で優しい性格だったハチ。自分を可愛がってくれた博士を待ち続ける一途な心が、時を経ても人々に心温まる感動を与えるのでしょう。

渋谷駅に通ったハチに、後世の人々を感動させてやろうなどという意図などあろうはずもなく、彼のなかには、ただひたすら、慕う人に会いたいという純粋無垢な衝動だけがあったのだと思う。

— 『東大ハチ公物語』より(抜粋) —

ハチに関連するクイズです。

I. 子犬だったハチは、秋田から東京へ列車で移動しました。その際何に入れられていた？

①木箱 ②麻袋 ③米俵 ④段ボール

II. 秋田犬は「日本犬六犬種」の一つです。この中に含まれないのは？

①甲斐犬 ②狆 ③柴犬 ④四国犬

III. ハチの像は、渋谷駅前のほかにもいくつかあります。実際には存在しないのは？

①ハチの生まれ故郷
②上野博士の自宅跡
③東京大学 ④映画のロケ地(アメリカ)

IV. 渋谷駅前にある初代の像は、戦争で金属が必要とされ、一度回収されます。2代目が造られた1948年、ハチの像に会いに来た有名人がいました。それは誰？

①ヘレン・ケラー ②グレース・ケリー
③アガサ・クリスティー ④マザー・テレサ

【こたえ】は左下にあるよ

【参考文献】『忠犬はいかに生まれるか』飯田操/著(世界思想社)、『東大ハチ公物語』一ノ瀬正樹・正木春彦/編(東京大学出版会)、『子どもと親のためのハチ公物語』須田諭一/著(メトロポリタンプレス)



かるた会 1月13日(土)開催

・百人一首: 10時～ 対象: 小学4～6年生
・いろはかるた: 11時頃～ 対象: 小学3年生以下
※要申込み 申込み期限: 1月11日

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 1月 —

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

休館日

— 2月 —

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | |

— 3月 —

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

【こたえ】 I・③ II・② III・② IV・①



『成瀬は天下を取りにつく』



宮島未奈/著
新潮社 (Fミヤ)
ジャンル：小説

『星空をつくる機械
プラネタリウム100年史』

井上 毅/著
KADOKAWA (440 イ)
ジャンル：実用書

『ダーウィンのドラゴン』



リンゼイ・ガルピン/作
小学館 (K933 カ)
ジャンル：児童書

「R-18文学賞」で史上初の三冠を獲得した「ありがとう西武大津店」を含む、六話からなる連作短編集です。物語の舞台は滋賀県、閉店が決定したデパート、西武大津店が背景となっています。主人公・成瀬あかりは中2の夏休みの間、西武閉店までの日々を中継するテレビに毎日映りに行きます。またある時は唐突にM-1グランプリへの出場を決めます。彼女は目立ちたがり屋に見えますが、本人は至って真剣。周りの空気を読まず、群れることもない。けれど騒ぐことも、強制もしません。ただ、自分のやりたいことを自分が納得できるようにしているだけです。そんなまっすぐな生き様が心地よい。他人に価値観を左右されない、憧れにも近い感覚になり、すっかり成瀬あかりのファンになりました。

丸いドーム空間、太陽が西の地平線に沈むと暮れゆく空に光りだす一番星。リクライニングシートを倒して見上げるのは街明かりに邪魔されない満天の星の輝き。プラネタリウム特有の雰囲気、空間の中心に据えられた投影機に思いを馳せたことがあるでしょうか。

近代プラネタリウムがドイツ博物館で公開されたのは1923年のことでした。ドームのルーツである天球儀と星の動きを再現する装置である天体運行儀が合流し、光学と電気技術が加わって成し遂げられたプラネタリウム誕生の様子が詳細に語られます。さらに1937年大阪市立電気科学館にツァイスII型が設置されたのを初めに、全国各地に設置が進んだ日本のプラネタリウムの歩みも詳説されています。

プラネタリウムの長い歴史、どの時代にも熱い思いを持つ人々がいて、彼らのエピソードの積み重ねがこの歴史をつくっています。宇宙の広がりやその存在のありようまでも感じさせてくれるプラネタリウム、天文学の発展と重なりながらこれからの進化は止まらないでしょう。(り)

今年は辰年。干支の中で唯一、想像上の生き物とされる龍が登場するお話を紹介します。

13歳の少年シムズは、標本収集の旅に出たダーウィンの助手。ガラパゴス諸島での調査中、急な嵐で海に投げ出され、ひとり孤島へたどり着きます。しかしそこは伝説の生き物・ドラゴンが住む火山島でした。ドラゴンの目をかいくぐりなんとか上陸しますが、今度はオオムカデにかまれてしまいます。絶体絶命の彼を救ってくれたのは、赤銅色の目と緑色の体をもつ、トカゲに似た生き物でした。シムズは銅貨になぞらえて「ファージング」と呼び、行動を共にします。賢いファージングは幾度となくシムズの力になってくれますが、火山が噴火を始めるのと、噴火口の真下にある、ドラゴンのねぐらへとシムズを誘います。そこにはドラゴンの卵が8個ありました。シムズはファージングから託された貴重な卵とともに、無事に脱出することができるとはどうでしょうか？

独自の進化を遂げた生物たちが暮らす、ガラパゴス諸島を舞台に、史実とドラゴンの存在を絡ませて描いた、手に汗を握る冒険物語です。(あ)

キッズランドかみ来館

9/21



5才児の子どもたち23名が元気いっぱい、バスに乗ってきてくれました。おはなし会ではお月様の話や運動会、松ぼっ



くりがでてくる物語を楽しんで聞いてくれました。また、興味のある本を1冊ずつ選び、貸出の手続きも体験して、図書館での時間を満喫していました。

秋のおすすめコーナー

10/1~11/12



読書週間(10/27~11/9)に合わせ、2つの展示を行いました。「おすすめ本」コーナーでは、図書館ボランティア【サポーター・ねっと】と職員がおすすめする、27冊を展示。熱い思いが書かれたポップを見てくださったのか、書架がほとんど空になるほどの盛況ぶりでした。

また「3市1町(西脇市、加東市、加西市、多可町)合同展示」では、各市町の「自慢」を紹介。多可町では「多可の町自慢」と題し、杉原紙や山田錦の日本酒、敬老の日のおはなしのほか、播州織、民話、郷土の偉人など、様々な分野の本を展示しました。まだ知らない「多可町」を知っていただくきっかけになれば幸いです。

『手あそびわらべうた』講座

11/18

「姫路おはなしの会」所属の林美千代さんを講師にお迎えし、手あそびやわらべうたについて学びました。昔から伝わる手あそびやわらべうたは、快いリズムやテンポに合わせることで子どもたちのからだを刺激すると共に、言葉の学びにもつながっています。参加者は講義だけでなく、林さんの歌うリズムにあわせて手や顔、からだ全体をつかって歌いながら手あそびを体験し、とても楽しい学びの時間となりました。



図書館 NEWS

— 9.16~12.10 —

中学生理科自由研究 作品展

10/5~10/19



夏休みに町内中学生が課題として取り組んだ理科自由研究。その中から学校ごとに選ばれた力作を、図書館の学習コーナーで約2週間展示しました。歌がうまくなる方法もあれば魚の骨格を研究したものなど、柔軟かつユニークな発想で取り組まれた作品ばかりでした。



読み聞かせ講座

10/26

子育てふれあいセンターと共催で行っている、恒例の読み聞かせ講座。丹波篠山市で「文庫『もりのなか』こどものとしゃかん」を主宰されている今西茂子さんを講師にお迎えし、「もっと知りたい、絵本のこと」と題し、車座になって行いました。「年の離れたきょうだいにはどんな本を選んだらいいか」「『これ読んで』と持ってくるけれど、すぐに興味が無くなってしまう」「YouTubeの読み聞かせはいけない？」など、参加者が普段感じている悩みや相談に応じる形で進められました。今西さんの経験談を交えた具体的な説明に、「絵本の良さが改めて分かりました」「良い絵本に出会わせてあげたいと思います」といった意見が寄せられました。

吉田田タカシトークライブ

12/9

多可町出身で現在は奈良県在住の吉田田タカシ(通称ダダ)さんをお招きし、トークライブを開催しました。ダダさんは、教育者、ミュージシャン、クリエイティブディレクターと多彩。その活動は多方面にわたり、つくるを通して生きるを学ぶ「アトリエ e.f.t.」、登校拒否の言葉遊びから生まれた、教育システムを進化させるムーブメント「トーキョーコーヒー」、2022年グッドデザインアワードにおいて内閣総理大臣賞を受賞した「まほうのだがしやチロル堂」など、多岐に渡る活動を詳しく紹介いただきました。

普段の何気ない気づきや、子育てや教育に役立つヒントがたくさんちりばめられており、大人がまずは学び、価値観をアップデートさせなければいけないなと感じました。質疑応答もたくさんあり、充実したトークライブとなりました。

